

新入生の皆さんへ

第1学年主任 伊藤道郎

新1年生の皆さん、こんにちは！ 1年生学年主任の伊藤です。今皆さんはそれぞれの自宅で、高専生活のスタートを心待ちにしていることと思います。皆さんの新たな学校生活のスタートがこのような形になってしまい、私たちも残念でなりません。

しかし、こんな時こそ自分自身が試される時です。決して下を向くことなく、今自分がやれることをしっかりやって、新たな生活に向けての土台作りをしておきましょう。

そこで私たちは、少しでもその助けになればと思い、各教科から課題を出してもらいました。授業開始予定の5月7日まで2週間少々ありますが、各自のペースでそれぞれ取り組んでみてください。

私たちも授業開始に向けて、連日様々な部署で会議を行い、準備を進めているところです。まだまだ不安な状況が続いていますが、一緒に頑張りましょう！ 皆さんに笑顔でお会いできる日を楽しみにしています。

第1学年 臨時休校期間中の学習について

《 物理 》

「物理(物理 IA)」については、課題を Office365 の Teams(※)にアップロードしておきますので、それを使って自習を進めてください。

課題は、今後数回に分けてアップロードしていきます。アップしたら改めてその旨を連絡します。

※Office365 にサインインする手順や、アカウント・パスワードは、4月初旬に各御家庭に郵送いたしました。

問合せ先:(理科・物理) 榎本 貴志 emoto@toyota-ct.ac.jp

《 化学・総合理科 》

「化学(化学 IA)」および「総合理科」については以下の学習を勧めます。

NHK 高校講座 化学基礎

<https://www.nhk.or.jp/kokokoza/tv/kagakukiso/>

(タイトル)・日常生活と化学のかかわり ・純物質と混合物
・単体と化合物 ・原子 ・原子核と電子

NHK 高校講座 地学基礎

<https://www.nhk.or.jp/kokokoza/tv/chigakukiso/>

(タイトル)・ビックバンと宇宙の誕生 ・恒星の進化とその最後
・銀河と宇宙の大規模構造 ・太陽系の誕生 ・太陽系天体の特徴

これらのビデオは、1タイトルあたり、20分(地学)と30分(化学)です。

それぞれの科目において始めに学ぶ内容です。

化学や地学は、小さすぎ、あるいは大きすぎてイメージがつかみにくい分野でもあります。

これを機に視覚的なイメージとプレ知識をつけましょう。

授業でのスムーズな理解につながると思います。ぜひ、学習してみてください。

問合せ先:(理科・化学) 今 徳義 kon@toyota-ct.ac.jp

《 国語 》

中学で学習した常用漢字の復習をしておくことをお勧めします。

中学校で副教材として使用した漢字テキストでも、

中学教科書の最後に掲載されている一覧を使っても構いません。

問合せ先:(国語科) 山口 比砂 yamaguchihs@toyota-ct.ac.jp

《 英語 》

NHK ラジオ第 2 放送・HNK テレビ(E テレ)の英語の番組を活用して、英語の学習(復習)をしてください。テキストを買う必要はありません。パソコンやスマホを使って再放送(オンライン)を視聴することもできます。多くの番組が提供されていますので、興味のある番組を複数選んで視聴してください。楽しく学べると思います。

NHK 英語の番組案内(オンライン)

<https://www2.nhk.or.jp/gogaku/english/>

問合せ先:(英語科) 神谷昌明 kamiya@toyota-ct.ac.jp

《 数学 — 基礎解析・線形数学 》

- ・基礎力が無い状態で新しい知識を身に付けることはできません。中学の【復習】からはじめてください。特に、基礎計算力を向上させると理系科目全体の学力向上になります。
- ・復習が十分な人は、【予習】で紹介しているものに挑戦してください。

【復習】

中学の範囲を振り返ってください。高専入試用の勉強方法で構いません。入学後、「式の計算・因数分解・直線や 2 次関数のグラフ」がすぐに必要になります。「式の計算・因数分解」を中心に反復練習をしてください。

【予習】

豊田高専の HP(4月3日)で紹介をしたページを読み、いくつかの問題に挑戦してください。

<http://math.dge.toyota-ct.ac.jp/katsutani/text/fnd/index1.html>

入学後に授業で学習するため、理解ができなくても気にする必要はありません。「習っていないことを自分で勉強をする練習」という気軽な気持ちで大丈夫です。

次の 3 つがオススメです。

①第 2 章 §5 整式の因数分解(問題 2.5.3 までの範囲)

- ・「たすき掛け」を使った因数分解(問題 2.5.1 の次の例題)は、授業で必ず学習します。
- ・「複号同順」とは、複数の±などの記号があるとき「全て上側の符号を選ぶ」か「全て下側の符号を選ぶ」ことで 2 種類の式を作る、ということです。
- ・3 乗がある例題と問題は飛ばしてもよいです。

②第 2 章 §7 分数式の計算(全体部分)

- ・分数の中に分数がある式(繁分数式)の計算(問題 2.7.2 以降)は、理系科目全体で必要です。
- ・問題 2.7.2 (2)は飛ばしてもよいです。

③第 2 章 §3 整式の除法の問題(全体部分)

- ・整式の除法は、1 年生後期の基礎解析 IB(分数関数のグラフ等)や、2 年生後期の基礎解析 IIB(積分等)の学習にも必要になる計算方法です。
- ・問題 2.3.2 の上の例解と問題 2.3.3 は少し難易度が高いので今は飛ばしてもよいです。

教科書や問題集を買った人は、それに載っている同じ範囲の問題も解いてみてください。

問合せ先:(数学科)

機械工学科、情報工学科:筒石奈央 takeshi@toyota-ct.ac.jp

電気・電子システム工学科:高村明 takamura@toyota-ct.ac.jp

環境都市工学科、建築学科:吉澤毅 tyoshiza@toyota-ct.ac.jp